

R元年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市介護老人保健施設 やすらぎの杜 優楽			
所在地	生駒市小瀬町324番地2			
指定管理者名	特定医療法人 仁悠会	指定期間	開始日	平成 23 年 4 月 1 日
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 3 年 3 月 31 日
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 10 年のうち 9 年目	
設置目的	要介護者等について、日常生活の自立を支援し、又は居宅における生活への復帰を促進するため、介護保険法に規定する介護老人保健施設を設置する。			
主な実施事業等	介護保険法に規定する、通所リハビリテーション、短期入所療養介護、介護保険施設サービス、介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所療養介護、訪問リハビリテーション			

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
入所・短期	人	90人/日	90.5人/日	1.2人/日	
通所リハビリテーション	人	40人/日	44.9人/日	5.6人/日	昨年以降リハビリ専門職員の増員を行ったため
短時間通所リハビリテーション	人	6人/日	5.6人/日	-1.2人/日	新型コロナによる利用控えの影響で減少

3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計	A	610,615,000	652,017,679	614,210,654
指定管理料				
利用料金収入	C	610,000,000	651,197,958	613,452,978
自主事業収入		495,000	573,361	500,556
その他		120,000	246,360	257,120
支出計	B	553,300,000	615,747,511	578,460,878
指定事業費		553,300,000	615,747,511	578,460,878
うち人件費	D	358,000,000	378,205,655	356,810,398
うち再委託料	E	63,000,000	65,523,762	62,653,589
自主事業費				
事業収支	A-B	57,315,000	36,270,168	35,749,776
利用料金比率	C/A	0.999	0.999	0.999
人件費比率	D/B	0.647	0.614	0.617
再委託費比率	E/B	0.114	0.106	0.108
補足説明(必要に応じて記入)				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート及び意見箱の設置
実施結果	意見内容等		対応実績等
	新型コロナウイルス感染予防の為、面会制限を行っていた際、「家族ともっと面会したい」との要望が複数寄せられました。		1階ロビーや2階食堂においての窓越し面会や、スマートホン等のICTを利用した通話等による家族との会話を確保した結果、十分とは言えないまでも利用者様と家族とのコミュニケーションを確保する事が出来ました。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	これまでと同様に、個々の利用者の状態に合わせた、多職種によるチームケアを行い、在宅復帰率50.2%と非常に高い実績を達成しました。今後も在宅強化型介護老人保健施設として、介護老人保健施設の重要な機能である「在宅復帰施設」としての役割を果たし、地域の身近な存在として、高齢者福祉の発展に努めます。
市の評価	新型コロナウイルス感染症の影響で、在宅復帰率は前年を下回るも、50.2%という高い実績を残し、超強化型介護老人保健施設としての役割を果たしている。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	公設施設としての公共性、公平性の役割を十分に認識し、施設利用について平等に行われるよう、適正な管理・運営に努めています。また、入退所の判定等、真に支援が必要とする高齢者とその家族に対して平等に行われるよう、判定委員会を組織し、公平さを高めるようにしています。
市の評価	入退所の判定等においては、判定委員会を組織し公平で適切な運用が行われている。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	引き続き年2回の利用者アンケート、食事嗜好調査の実施や2箇所に意見箱を設置し、利用者の意見を汲み取り、結果の分析や評価を行い改善策を実施しています。また、苦情等については、相談窓口を設置し、迅速な対応に努めています。
市の評価	嗜好調査を含む年3回のアンケート調査を実施するとともに、施設内2か所に意見箱を設置し、利用者の意見把握に努めている。また、苦情等についても相談窓口を設置し、迅速かつ丁寧に対応している。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	以前より継続して節水バルブの取り付け等による経費の節減に努めています。また、環境負荷低減活動を推進するためにも、エネルギー消費を抑える努力を行っています。
市の評価	経費削減に努めるとともに、環境に対する取り組みも行っていることは確認できるものの、光熱水費は増加。継続して経費削減に努めていただきたい。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	引き続きリハビリテーションの提供体制の強化や、デイサービスの利用定員の増加を行うなど、利用者ニーズの幅を広げ、利用者の増加が図れるよう努めています。
市の評価	リハビリテーションの提供体制の強化により、通所リハビリテーションの利用者等が増加し、収入が増加している。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	市民公開セミナーの開催や小学校からの社会実習の受け入れを行うなど、地域との有機的な連携や双方の関係づくりを行っています。また、施設が提供するサービスの質を、公正・中立な第三者機関に専門的・客観的な立場から評価を行う第三者評価を受審し、サービスの質の向上に取り組んでいます。
市の評価	職員の能力・資質の向上を目指し研修を実施し、サービスの向上に努めている。また、セミナーの開催や社会実習の受け入れなど地域との連携を図っている。さらに、広報誌の発行や公開講座の開催等により、広く施設の周知を図っている。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	これまでに市民向けの公開講座の開催や、通所リハビリテーションに高齢者向けのリハビリマシンを取り入れるなど、介護予防のため新たなプログラムを導入し、多様な要望に応えるようにしました。また、施設入所者の方の室料を、市民の方に限り、低減をさせていただいています。
市の評価	市民向けの公開講座の開催、訪問リハビリテーションの強化、通所リハビリテーションに高齢者向けのリハビリマシンを使用し、介護予防のための新たなプログラムを導入するなど、多様な要望に応え、利用者の増加に努めている。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	新型コロナウイルスの感染防止対策のため、感染対策委員会を中心に新型コロナウイルス感染症に特化した感染対策を徹底しています。また、事故対策委員会を設置し、事故防止マニュアルの整備を行い、事故の発生防止及び事故発生時の対応手順等が実際に機能するように努めています。
市の評価	感染防止対策の為に感染対策委員会を組織し、新型コロナウイルス感染症に特化した感染対策を徹底している。また、事故防止マニュアルの整備を行い、事故の発生防止及び事故発生時の対応手順の周知に努めている。

サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	高年齢者に適したサービスの提供を行うことで、利用率の維持向上を図り、比較的安定した運営を行うことができています。今後も、医療必要度の高い利用者の受け入れ等も積極的に行い、安定した事業の継続に努めます。
市の評価	リハビリサービスの提供体制強化、サービスの充実等により利用率の向上を図り、安定した経営状況となっている。

## 6 指定管理者の財務の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資産	7,882,846,436	8,246,206,886	8,255,910,608
流動資産	4,739,652,413	4,862,312,208	4,126,676,119
固定資産	3,143,194,023	3,383,894,678	4,129,234,489
負債	2,389,048,575	2,227,150,993	1,806,916,545
流動負債	395,208,630	432,520,762	363,857,386
固定負債	1,993,839,945	1,794,630,231	1,443,059,159
純資産	5,493,797,861	6,019,055,893	6,448,994,063
資本金	5,000,000	5,000,000	5,000,000
売上高	4,353,042,037	4,383,512,700	4,582,874,680
経常利益	680,328,864	643,257,433	525,357,151

## 7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
自己資本比率 純資産/資産×100	69.7%	73.0%	78.1%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	43.5%	37.0%	28.0%
固定比率 固定資産/純資産×100	57.2%	56.2%	64.0%
流動比率 流動資産/流動負債×100	1199.3%	1124.2%	1134.1%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	42.0%	43.3%	52.3%
総資産回転率 売上高/資産×100	55.2%	53.2%	55.5%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	8.6%	7.8%	6.4%

## 8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価	本年度は、年度末に新型コロナウイルスの影響による利用控え（通所リハビリテーション）が生じた。次年度は新型コロナウイルス感染対策に力を注ぎ、利用者様に安心して利用していただける施設を目指します。
市の評価	利用者のニーズに適したサービスの提供、効率的な運営に努めていただき、計画・目標どおりの安定した収支状況で優れた結果となっています。今後も超強化型施設であることを強みとして、利用状況の向上、在宅復帰率の維持を図り、適切な運営に努めて下さい。